

こんにちは！

めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は「給食・弁当工場でのデモンストレーション終了」

「春の野菜・果物」の記事をお届けします。

季節はずれの暑さで、桜は一気に散り、若葉がまぶしい季節に変わりました。
(担当: 齊藤)

給食・弁当工場でのデモンストレーション終了

給食・弁当製造工場で生ゴミ処理機:フォースターズのデモ、結論は導入に結びつきませんでした。

分解不良(グズグズの状態)



原因として、まずは注意していたご飯、後から判明した麺の対応が徹底できなかったこと。投入量、投入方法の管理も、想定より大量に廃棄物が発生し、発酵分解不良を起こしました。

不具合理由をまとめ、注意喚起し、仕切りなおし。

同時に機器の設定を変更しました。

- ①上給水でデンプン質を洗い流す。
- ②水分調整、臭気対策の為、粳穀追加。

再スタート後も、投入量の管理が進まずまた、期待した減量効果が得られず、デモは中止になりました。

「うちの生ゴミと合わなかったからしょうがない」のコメントを頂きましたが、残念な結果でした。



春の野菜・果物



ビワの袋掛けも終わり、6月初旬の収穫待ちです。

ビワの実は寒さに弱く、内陸部ではうまく着果しません。西三河、海岸部の春の景色です。

・西尾市の春キャベツ畑

今年は生育が遅れていましたがこのところの暖かさでグングン成長。

冬キャベツにはない、ゆるい巻きとシャキシャキした甘さが特徴です。



・家庭菜園でよく見かけるニンニク。

今の時期は結球がどんどん大きくなり、根元が地割れします。

5月末、葉が枯れるとともに、収穫作業に入ります。



・4月中旬、浜松の広大なジャガイモ畑。

美味しさは、水はけのいい、粘土質の赤土で作られます。

水はけと粘土、矛盾した土質ですが先人の改良による賜物です。

